

令和3年9月6日

お知らせ

和洋女子大学では、株式会社カネカがちいき進かがく株式会社に委託して実施している「ユビキノール（還元型 CoQ₁₀）の継続摂取による健康増進効果および QOL 向上効果評価試験（ユビキノール健診）」に加わり、ユビキノールの吸収と遺伝子型関連について研究し、吸収に特異的に関連する遺伝子型があることを明らかにしました。今回、先の研究に協力していただいた方を対象として、2013年11月～2018年2月に行われたユビキノール健診測定結果を2016年11月に和洋女子大学が実施した研究結果と併せ、下記課題の研究を実施いたします。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、ユビキノール健診での測定結果を本研究に利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡ください。

【研究課題名】

ユビキノール（還元型 CoQ₁₀）サプリメントの継続摂取がもたらす QOL および認知機能の改善効果の個人差と CoQ₁₀ 代謝関連遺伝子の遺伝子一塩基多型との関連調査

【研究体制】

- ・研究統括者 ちいき進かがく株式会社 木下 徹
- ・研究運営責任者 和洋女子大学 鈴木 敏和
- ・研究分担者 和洋女子大学 高橋 美知代、高野 栞（データ解析）

【研究の目的】

先の研究で、経口摂取されたユビキノールの吸収に影響する遺伝子一塩基多型（SNP）があることを見いだしました。今回、ユビキノールの吸収だけではなく、その効果として明らかになっている QOL および認知機能の改善効果に影響する SNP 型について調査することを目的とし、ユビキノール健診での測定結果と和洋女子大学の研究結果を併せて再解析を行うこととしました。この研究結果は、それぞれの人の生まれ持った（遺伝的な）体質に合わせたユビキノールの個別化指導に応用できると期待しております。

【研究の方法】

（対象となる方）2016年11月に愛媛県上島町（弓削島・岩城島）で行われたユビキノール健診測定会で、和洋女子大学が実施した「愛媛県上島町ユビキノール健診参加者を対象としたユビキノールサプリメントの吸収と遺伝子多様性に関する研究（以下、遺伝子研究）」にも同意し、参加された方 170 名

(利用する情報) 上記の170名の方について、2013年11月から2018年2月にかけて行われたユビキノール健診で得られたQOL調査結果(SF-36)、認知機能測定結果(Digit Symbol Substitution Test)、血中CoQ₁₀およびコレステロール濃度、および遺伝子研究で得られた遺伝子一塩基多型(SNP)型の情報

【個人情報の取扱い】

対象となる方のデータは、匿名化され、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究成果は学術雑誌や学会等で発表を予定していますが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

【研究倫理】

本研究は、「和洋女子大学人を対象とする研究倫理委員会(受付番号2102-1号)」より承認が得られております。

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の対象となる方の個人情報の保護、および知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

和洋女子大学 家政学部 健康栄養学科 教授 鈴木 敏和

〒272-8533 千葉県市川市国府台 2-3-1

Tel : 043-371-1547 (直通)

ウェブページ : <https://wayonutrsuzukilab.wixsite.com/biochem>

【引用文献】

1. Takahashi M, Nagata M, Kinoshita T, Kaneko T, Suzuki T. *CYP7A1, NPC1L1, ABCB1, and CD36 Polymorphisms Are Associated with Increased Serum Coenzyme Q₁₀ after Long-Term Supplementation in Women. *Antioxidants*. 2021; 10(3):431.*

<https://doi.org/10.3390/antiox10030431>